

キャラクター名  
 杉 璃依葉

プレイヤー名

シンドローム	ハヌマーン オルクス		ワークス	レネゲイドビーイングD	カヴァー	カフェのマスター
	オプショナル ブラム=ストーカー		年齢	20	性別	女
覚醒	死	衝動	殺戮	初期侵食率	49	%
出自	願い	経験	挫折	邂逅	後押し	

	基本値	ワークス	ボーナス	成長	他修正	能力値	HP	24
肉体	1	0	0			1	行動値	18
感覚	2	0	0			2	(非装備時)	18
精神	2	0	0			2	戦闘移動	23
社会	3	1	0		1	5	全力移動	46

肉体			感覚			精神			社会		
技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正
白兵	4		射撃			RC	1		交渉	1	
回避	1		知覚			意志	1		調達	1	
運転:			芸術:			知識:			情報:ヒーロー	1	
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		

武器・コンボ	能力	命中値	G値	攻撃力	射程	メモ
クリムゾンオーディナンス	白兵	1r+4	5	a+20		10+11 aは作成時消費したHP 侵蝕率+5
↳100%	白兵	1r+4	5	a+23		
ノーバディノイズ	白兵	5r+14		a+40		4使用后 5+7+8+12+13 侵蝕率+8
↳100%	白兵	8r+16		a+43		

防具	価格	装甲	回避	行動	メモ

所持品	
ヒーローズクロス	
カテゴリ:ベテラン	
携帯電話	

合計装甲: 0 合計回避: 0

ロイス				
対象	感情(pos)	感情(neg)	タイ	消費
業師	P	N		
杉 璃依葉	P 遺志	N 憐憫		
稲羽 真子	P 友情	N 悔悟		
	P	N		
	P	N		
	P	N		

最大財産P: 12 残り財産P:

スキル名	SL	コスト	タイミング	射程	対象	判定	制限	メモ
ワーディング	★	-	オート	視界	シーン	自動	-	
効果: 非オーヴァードのエキストラ化								
リザレクト	0	1d10	気絶時	-	自身	自動	↓100	
効果: コスト分のHPで復活								
ヒューマンズネイバー	1	-	常時	至近	自身	自動	RB	
効果: 衝動判定時ダイス+Lv 基本侵蝕率+5								
O:サイバー	5	2	m	至近	自身	自動	RB	
効果: シーン間【社会】判定達成値+[Lv*2]								
先手必勝	4	-	常時	至近	自身	自動	-	
効果: 行動値+[Lv*3] 基本侵蝕率+4								
C:オルクス	3	2	M	-	-	-	-	
効果: クリティカル値-Lv(下限値7)								
ディストーション:白兵	1	2	M	武器	-	対決	-	
効果: <白兵>を【社会】で判定								
一閃	1	2	M	至近	-	対決	-	
効果: 全力移動後白兵攻撃 離脱不可								
獅子奮迅	1	4	M	武器	範囲(選択)	対決	-	
効果: 対象を範囲(選択)に変更								
赫き剣	4	3	m	至近	自身	自動	-	
効果: 白兵武器作成								
↳破壊の血	4	2	m	至近	自身	自動	リミット	
効果: 10で作成した武器攻撃力に+[Lv*3] ガード値+5 HP2消費								
縮地	4	2	O	至近	自身	自動	-	
効果: 移動時シーン内の任意の場所に移動 離脱可能								
↳バックスタブ	4	-	常時	至近	自身	自動	リミット	
効果: 12使用したメインプロセス間攻撃力+[Lv*5]								
オーバーロード	1	3	O	至近	自身	自動	80%	
効果: 攻撃判定時攻撃力に+使用している一つの武器攻撃力 メインプロセス終了時破壊								
D:ライトスピード	1	7	m	至近	自身	自動	100%	
効果: メインプロセス間メジャーアクション2回行う クリティカル値+1								

数年前、検定を無事通過しプロ入りを果たした運命のヒーロー。

オルクスとハヌマーンの能力を生かした領域間跳躍と、ブラム=ストーカーの能力により自身の血を媒介に作り出される深紅の武器が特徴で、"駆けつけるヒーロー"として一部の層にはそれなりに人気を博している。それでも幅広いファン層を獲得できずにいる理由は、自身のヒーロー活動にスポンサーをほとんど付けず、メディアへの露出が事件への出動を除いてほとんどない。露出がない為、彼女の出自が掘り下げられることも少なく、未だに謎多きヒーローである。同期などには、メディア露出に関して、"自身の原点(オリジン)"であると答えているが、はっきりと判明していない。良くも悪くも、ヒーローのビジョンを強く持っており、気に入らないヒーローに陰湿なぶつかり方をすることも。

そんな謎多き彼女の正体は、一人の少女の願いを歪に叶えたレネゲイドビーイングであり、願った一人の少女こそが彼女である。

少女——杉 璃依葉はかつてヒーローに憧れたどこにでもいる少女だった。

困難に打ち勝ち、人々を救うヒーローの姿に。

少女は夢に邁進した。誰よりも真っ先に駆けつけるヒーローになれるようにと、ひたすらに走った。

しかし、現実には非情にも彼女の夢を打ち砕いた。ヒーロー認定テストに通ることが出来なかったからだ。単純な話、実力不足。力が足りないならまだ受け入れられた。しかし、力はあってもとても無いがヒーロー然とした行いのできない連中がテストを通過し、ヒーローになった事がどうしても受け入れられなかった。

それまでの夢を打ち砕かれた少女は腐敗していき、メディアの露出の多いヒーローを対象に匿名の掲示板で誹謗中傷を書き込みまくった。あのヒーローの性格は。あのヒーローの行動は。理不尽な憎悪を込めて書き込めば書き込むほど、自分がヒーローになれていけばという想いは膨らみ、膨らめば膨らむほど嫌悪・憎悪・殺意と負の感情にばかり落とし込まれていく。

食事もまともに喉を通らず、ただただ衰弱していく少女は、最期まで機械の前から離れなかった。

そして、「生まれ変わったら、今度こそ自分の理想の、本物のヒーローになりたい」と願いを書き込み、息を引き取る。

